

平成30年度決算 南城市の財務書類を公表します

はじめに

平成26年度に総務省より「統一的な基準による財務書類」が示され、南城市では平成28年度決算より統一的な基準による財務書類を作成しています。ここでは平成30年度決算の統一的な基準による財務書類うち、一般会計等財務書類4表について公表します。

財務書類とは？

統一的な基準による財務書類は以下の4表で構成されています。

貸借対照表（バランスシート）：南城市が所有する資産や負債の状況を表します。

行政コスト計算書：人件費や減価償却費を含めた事業のコストとその対価としての収益を表します。

純資産変動計算書：1年間の純資産の増減を表します。

資金収支計算書：1年間の資金の増減を表します。

財務書類の関連性

財務書類4表は互いに関連性を持っています。次のページでそれぞれの財務書類についてみていきます。

【貸借対照表】

資産	負債
現金預金	純資産

【行政コスト計算書】

経常費用
↓
経常収益
+
臨時損失
↓
臨時利益
純行政コスト

【資金収支計算書】

期首資金残高
+
収入
↓
支出
期末資金残高
+
期末歳計外現金残高
期末現金預金残高

【純資産変動計算書】

期首純資産残高
↓
純行政コスト
±
その他純資産の変動
期末純資産残高

一般会計等って？

地方公共団体の会計で、一般会計と、公営事業会計を除く特別会計を合算したものです。南城市では一般会計のみで構成されています。

連結財務書類って？

一般会計等に加え、自治体を構成するその他の特別会計（国民健康保険事業、水道事業など）や、自治体と連携協力して行政サービスを実施している関係団体などの決算をひとまとまりにした財務諸表です。

そもそも財務書類って？

民間企業における会計の考え方（複式簿記）で作成される決算に関する書類のことです。各自治体が保有する資産や負債の情報が分かりやすくまとめられています。

資産って？

自治体が保有している財産の事です。公共施設や道路などが資産に含まれており、それらの資産の根拠となる固定資産台帳についても公表を行っております。

統一的な基準って？

これまでの公会計財務書類のモデルには、基準モデルと総務省方式改訂モデルの2つのモデルがありました。これらの2つのモデルを統一し、全国的に同じ基準で作成するために整備されたのが統一的な基準モデルです。

～用語の解説～



平成30年度決算 南城市の一般会計等財務書類

南城市の貸借対照表（バランスシート）

貸借対照表（バランスシート）は、会計年度末に南城市が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった、市の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

(単位：千円)

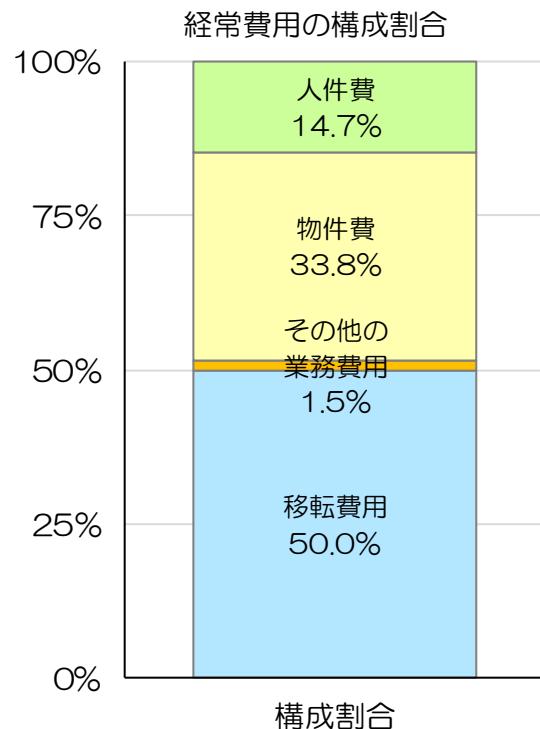
借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	159,343,566	固定負債	20,549,018
有形固定資産	154,469,541	地方債	19,701,597
無形固定資産	109,164	退職手当引当金	736,685
投資その他の資産	4,764,861	その他	110,736
投資及び出資金	926,840	流動負債	2,616,428
基金	3,708,024	1年内償還予定地方債	2,178,267
その他	129,997	賞与等引当金	179,692
流動資産	8,525,507	その他	258,469
現金預金	1,745,498	負債合計	23,165,446
未収金	76,321		
基金	6,710,618	【純資産の部】	
その他	△ 6,929	純資産合計	144,703,627
資産合計	167,869,073	負債及び純資産合計	167,869,073

南城市の行政コスト計算書

公共サービスを提供する際に発生した支出と、それらの対価として得られた収入を計上しています。

(単位：千円)

区分	金額
経常費用	20,325,285
業務費用	10,156,676
人件費	2,988,108
物件費等	6,873,100
その他の業務費用	295,468
移転費用	10,168,609
経常収益	1,041,454
使用料・手数料	285,696
その他	755,757
純経常行政コスト	19,283,832
臨時損失	27,597
臨時利益	1,022
純行政コスト	19,310,406



南城市の純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。

(単位：千円)

前年度末 純資産残高	144,436,182
純行政コスト	△ 19,310,406
財源	19,257,686
税金等	12,003,958
国県等補助金	7,253,728
資産評価差額	△ 28,944
無償所管替等	34,215
その他	314,894
本年度 純資産変動額	267,445
本年度末 純資産残高	144,703,627

平成30年度決算では年度末の純資産残高が前年度末と比較して増加しています。このことは減価償却費等の現金の支出を伴わないコストも含めた総コストを、税金等で賄えたことを示しています。

南城市の資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかが分かります。

(単位：千円)

前年度末の現金預金残高	2,483,946
【業務活動収支】	
業務支出	16,442,821
業務費用支出	6,274,212
移転費用支出	10,168,609
業務収入	17,967,367
臨時支出	18,210
臨時収入	484,359
業務活動収支	1,990,695
【投資活動収支】	
投資活動支出	6,724,970
投資活動収入	2,749,058
投資活動収支	△ 3,975,912
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,060,930
財務活動収入	3,319,100
財務活動収支	1,258,170
本年度資金収支額	△ 727,047
本年度歳計外現金増減額	△ 11,402
当年度末の現金預金残高	1,745,497

業務活動収支

行政サービスの提供に必要となる人件費や物件費などの支出と、税金などによる収入が計上されます。

投資活動収支

道路や公共施設の取得のために支出した金額や基金への積立額等と、公共施設等の取得の財源となった地方債や国・県からの補助金、基金の取崩額等が計上されます。

財務活動収支

支出には地方債の償還額が、収入には新たに発行した地方債の収入額が計上されます。

※本資料内の財務書類では端数処理の関係で合計額とその内訳が一致していない場合があります。